

SGH課題研究発表会 I を開催しました！ (2)

ポスターセッションの部

ラウンジ（平和班）・会議室（医療班）・国際会議場（水班）で行われたポスターセッションでは、ご来場の方々から熱心なご指導をいただく姿が見られました。来客、生徒の投票により、評価が高かった4班が奨励賞を獲得しました。

奨励賞

組・班	メンバー	研究テーマ
1組5班	関清花、木下敬平、鍵本憲成、岡村京美、濱崎美来	納豆で水質浄化を試みる
3組7班	土岐勇将、麻生理緒、岩永楓、大井洋人、阿部萌乃、樋口玲奈	ツマアカスズメバチの侵入調査と被害予防
3組8班	森菌健太、奈良崎ひなた、村井俊介、揚野綾生、入江珠璃	簡単！！歯磨きで肺炎予防
4組5班	中尾榛花、坂本茉優、鍵文音、馬渡理央	認知症を未然に予防しよう



トビタテ！留学JAPAN帰国報告

2組の田中涼風さんは、トビタテ！留学 JAPAN 2期生として、オーストラリア・シドニーへ留学し、観光学とそれに関連した英語授業を受講した経験を、スライドを用いて説明してくれました。留学した経験を踏まえて、「留学に興味がある人、自分の将来について考えを深めたいと思っている人は、自分の可能性を信じて是非挑戦してほしい」と述べてくれました。



講評

SGH運営指導委員である山口大学の陳内秀樹先生から、今回の課題研究発表会 I・IIを通して、以下の講評をいただきました。ありがとうございました。

【良かった点】

- ①テーマ設定が優れている。 ②原稿をよく覚えて自分のものになっている。
- ③実験して体験に基づいて思考している。④解決策までよくたどりつけている。
- ⑤多文化をよく知ろうとする姿勢がすばらしい。
- ⑥質問が素晴らしい。着眼点も論理性も、マナーも。

【改善すべき点】

- ①テーマを絞りすぎていないか？ ②得意な誰かに任せるのか、分担するのか、どちらも可。
- ③体験すると確信を強めてしまう。もう1度疑ってみよう。
- ④結論を急がないこと。課程で得られた気づきこそ大切。
- ⑤他文化を通して自らが何者かを知る。 ⑥発表を聞いて疑問を持ち、勇気を持って発表する。

